

## 第 531 回物性セミナー

# 水素ステーションの定量的リスク評価と 社会受容性調査

講 師 小野恭子 氏

(産業技術総合研究所安全科学研究部門・主任研究員)

日 時 2018 年 10 月 9 日 (火) 16 : 00-

場 所 先端物質科学研究科 302S

水素社会に向け燃料電池車等が普及するには、燃料電池車に水素を充填するインフラである、水素ステーションの導入が不可欠である。ステーションの普及には社会に受容されることが必要であり、そのために事業者および行政が「水素ステーションに万が一事故が起きた時の影響の大きさ」を市民に説明できることが望ましい。

本発表では、水素ステーション、特に有機ハイドライド型水素ステーションにおける、事故時の影響の大きさを「リスク」という指標を用いて評価してきた産総研の取り組みについて紹介する。定量的リスク評価の枠組み、および各要素技術であるベイズ推定を用いた発生確率解析、急性・慢性毒性や爆風圧等によるヒトへの影響シミュレーションについての技術開発の動向についても述べる。後半では社会受容性調査の目的と枠組み、および結果について紹介する。本発表は SIP「エネルギーキャリア（エネルギーキャリアに関するステーションとその周辺に対するリスク評価手法開発と社会受容性調査）」の成果である。

5 研究科共同セミナーの認定科目です

担当：小島 由継（自然科学研究支援開発センター）・内線 3904

【世話人】

高根 美武（内 7653） 浴野 稔一（内 6552）

松村 武（内 7021） 木村 昭夫（内 7471）

犬丸 啓（内 7741）

【広報担当】

稲垣（内 5720）

